

# その「物語」、の物語。

「ペログリ」的複眼思考の味わい vol.058

## a taste of Ya'ssy

### 田中 康夫



たなかやすお ● 56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。  
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、  
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ  
ログ】 www.nippon-dream.com/



原宿駅から竹下通りを進み、明治通りとの交差点から斜め進行左へと延びる「裏原」の逆一方通行路が「こんちゃん通り」。その来由は、アパレル業界の面々が集う時空として耳目に触れる機会の多かつた、'05年まで存在していた居酒屋とんちゃん。

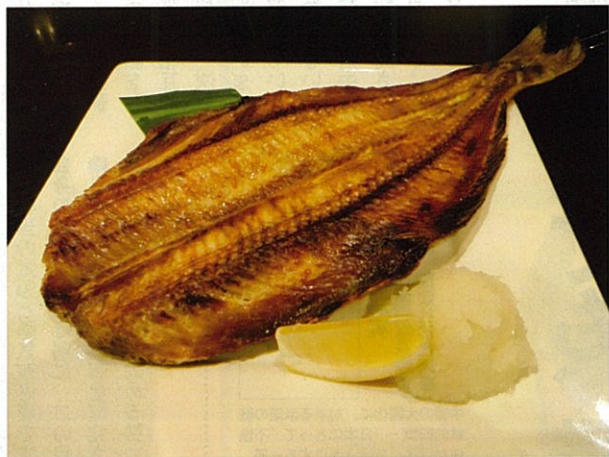
本誌に移籍する以前の「東京ペログリ日記」を「噂の真相」で連載していた'96年晩秋、W嬢II現在の妻と知り合ったのも、何を隠そう、とんちゃん。僕の舎弟集団を任じていた聖マリアンナ医科大学

の学生諸氏の飲み会に、求められて出向いたのが契機でした。「裏原宿」「裏原」の符丁が社会的に認知されるのは'97年前後です。それ以前から既に屹立していた件の居酒屋は、青果店や鮮魚店が立ち並ぶ往時の商店街で製氷店を営む、町内会の顔役だった区議会議員が始めたのでした。

飯田公一、八千代夫妻の「ねぎぼうず」は、'96年末に暖簾を掲げています。とんちゃんの創業者も身籠り、生鮮食品を扱う昔ながらの店舗も尽く廃業した原宿商店街

## 札幌出身の妻も驚嘆。凡百の居酒屋を凌駕する「いまどき真っ当な料理店」

### 今週の逸品



### ほっけ焼 850円

御多分に漏れず洋服&美容業界の従事者は喫煙率が高く、ねぎぼうずの顧客も例外ではない。にも拘らず、嫌煙派の僕が定案く通い詰める理由は、食したなら忽ち氷解するであろう。日本酒、焼酎も豊富な品揃え。

ワインはチリ、イタリアの白赤が計4種。ネット上の料理店指南サイトには、ねぎぼうず原宿店と紹介されているが、これは一時期、三軒茶屋にも出店していたが故。日祭日には上代価格の10%引。必訪問。必満足。

【ねぎぼうず】東京都渋谷区神宮前3-20-21 ベルウッド原宿B1 ☎03-3402-2010  
営17:00~24:00(LO23:30) 日祭~23:30(LO23:00) 無休、カード可

Illustration by Hajime Anzai



いた豚肉とキャベツの大阪お好みオムレツ(650円)も推奨。定番品を記した品書きに加え、手書きでB4紙に列挙された日替わりの品書きも存在します。その品数、半端じやありません。魚河岸のおすすりめと銘打って刺身が十数種類。鯖西京焼(800円)や牛タン網焼(900円)等の焼物。1本2600円の白レバー、豚口、味噌豚といった串焼。煮物もサラダも揚物も充実。ねぎオムと併せ、自家製岩のり豆腐(380円)、帆立・大根サラダ(580円)、自家製ポテトサラダ(500円)、たこやわらか煮(600円)、グリーンアスパラの長いコロッケ(600円)、活タコ唐揚 味噌マヨネーズ(700円)の中から幾つか振るのが僕らの定石。